

龜田東伍

（おひだり）

労働運動家。

明治四十二年九月二十日群馬縣高崎生れ

（一九〇一）。

青山師範學校卒業後小學校勤務の傍ら、夜間日本大學高等師範部、中央大學法學部卒。昭和十五年保土ヶ谷化學に入社し労働

運動に入る。二十一年日本共產黨入黨、また全日本化學産業労働組合

執行委員長、産別會議副議長と務める。二十七年から二十一年まで北

京に滞在、歸國後出入國管理令違反及び罰はれた。

著書『私は戦争に生きのびた』、そして……十五人の戦争記録』（合

著・山口健次郎編、昭和二十六年二月二十一日曙明社）、『中国の建

設―第一次五カ年計画の時代』（昭和二十一年九月十七日岩波書店

「岩波新書」）、『珍郷―北京のありと、―日本人の想える』（昭和

二十一年十一月十日光文社「カッパ・ブックス」）等。

二十一年十一月十日光文社「カッパ・ブックス」）等。